

中高一貫教育だより

令和6年12月18日(水) 第2号発行

今年度の中高数学交流授業は10月で、中高英語交流授業は11月で終了しました。また、12月には理科の出前授業を実施しました。今回は数学・英語の交流授業と理科の出前授業の様子をお伝えします。

<数学の交流授業>

6月から10月まで全10回、数学の交流授業を行いました。10月2日(水)、3日(木)の2日間は『関数』について軽米高校の吉田憲司先生と伊東浩二先生が中学校で授業を行いました。アンケートの結果を一部紹介します。

【事後アンケート集計結果(一部抜粋)】

数学の授業に関心を持って参加することができた。											
	あてはまる		ややあてはまる		どちらともいえない		あまりあてはまらない		あてはまらない		
全体	23	46%	18	36%	5	10%	4	8%	0	0%	

集中授業を受けて良かった。											
	あてはまる		ややあてはまる		どちらともいえない		あまりあてはまらない		あてはまらない		
全体	40	80%	7	14%	3	6%	0	0%	0	0%	



【数学集中講義を受けた中学生の事後アンケートより】

- ・関数のところが苦手だったので復習できて良かったです。丁寧に説明してくださったのでより理解することができました。
- ・ゆっくり進んでいたの理解度があがりました。関数や入試問題に慣れることができました。ありがとうございました！
- ・入試問題にチャレンジして今の自分の実力じゃ助けがないと問題を解けないことが分かりました。入試の時は自分との戦い、だれも手助けをしてくれないので自分で自力で解けるようになりたい。
- ・小学校や中学校の内容が大切だということが分かりました。
- ・あまり得意ではなかった関数も集中講義のおかげで問題を解けるようになりました。解説がとてもわかりやすかったです。
- ・3年分の関数を全て理解できた。入試問題がこんなにも難しいということが分かった。

<英語の交流授業>

中学3年生を対象とした英語の交流授業全14回が終了しました。11月14日(木)、15日(金)、18日(月)、19日(火)の4日間は、軽米高校の平谷成子先生と小野寺陽子先生が主担当で集中講義を実施しました。内容は昨年同様ディベート活動で、主な活動は次の通りです。

14日(木)	ピンポンディベートの説明/リピート練習/ロールプレイング
15日(金)	ディベートの復習/「全ての中学生は地元の学校に進学すべきだ」に対して協議
18日(月)	Topic に対してグループ内で賛成、反対意見を2つに絞り英語にする
19日(火)	ピンポンディベート実践



<理科の出前授業>

12月5日(木) 中学2年生を対象に恒例の「豚の目の解剖実験」を行いました。軽米高校から遠藤宗啓(むねあき)先生が中学校を訪問し実験をしました。最初は見た目の様子から全く手をつけることができない生徒もいましたが、時間が経つにつれて慣れてきた生徒は器用に解剖を行い、目の構造について実物を見て理解を深めた様子でした。来年度も引き続き実施する予定です。

